

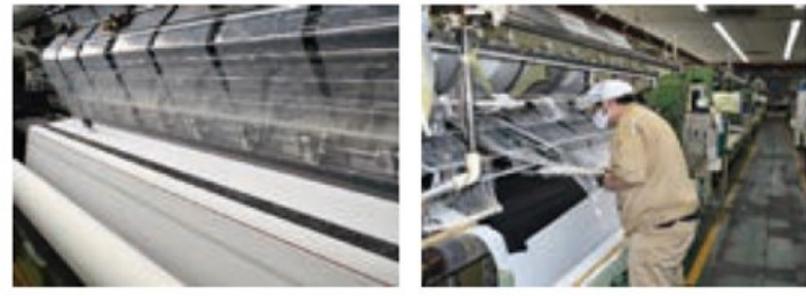
古くから小矢部市は繊維産業が盛んで、今でも「整経・編立」「染色・加工」「縫製」など、繊維産業の様々な工程に携わる事業所が多くあります。今回から数回にわたり、繊維産業に携わる事業所を紹介していきます。

小矢部繊維工業株式会社

開発力でニットの 無限の可能性に挑戦

小矢部繊維工業は「トリコット」という生地を生産しており、一部製品は国内シェア50%を誇っています。トリコットとはどんな生地?と思われた人には、ポリエステルやナイロンといった化学繊維のニット生地と言えば、分かりやすいのではないのでしょうか。生地の特徴である伸縮性や肌触りの良さから女性用のランジェリーや洋服などに使われています。私達が一度は聞いたことがあるブランドの商品にも小矢部繊維工業の生地が使われているそうですよ。

近年は外国製の安い織物に対抗するため、衣料だけでなく、非衣料の分野にも進出しており、長年培った技術力や開発力を活かし、編み方を工夫するなどして顧客ニーズに沿った高付加価値のある製品を生み出しています。トリコットが3重構造になった少し厚みのある生地



は、通気性に優れた素材であることから、例を挙げればスニーカーやベッドのマットレス、チャイルドシートといった製品になっています。皆さんが普段何気なく使っている日用品は、実は「メイドイン小矢部」の生地できているかもしれませんね。

工場内は色とりどりの反物が並んでいると思ったら大間違い!編み上がった反物は全て真っ白です。出荷された反物は、「染色」の工程で商品に応じた色に染められます。次回は染色に携わる事業所を紹介します。

働く人に聞きました



かさい ひろと
笠井 広人さん
(2005年入社、
高岡市出身)

皆さんの生活に必要な不可欠な衣類、寝具等の様々な繊維製品に使用される生地を生産しています。ウィズコロナ時代に合わせ、新たなマスク生地の開発・生産にも社員一同協力して取り組んでいます。社員同士の風通しも良く、報・連・相がしっかりと行われていて、働きやすい会社です。

うちの会社の強み

- その1 衣料から非衣料まで
いろいろな製品に
対応できる企画力
- その2 安定した財務基盤
- その3 何でもチャレンジ
できる社風

■ 事業所データ

事業所名	小矢部繊維工業株式会社
設立	1967年
職種	製造業
住所	鷺島187-6
電話	67-2255